

科名 血液内科 血内-137(b)

対象疾患名 再発急性前骨髄球性白血病

プロトコール名 JALSG APL205R 移植前処置(BU1日1回)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3
1	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて		↓	↓	↓							
2	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	3.2mg/kg 500mL	3時間かけて 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖はブスルフェクスの10 倍量にする		↓	↓	↓							
3	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて					↓	↓					
4	CV	側管	アルケラン 生理食塩液	70mg/m <sup>2</sup> 100mL	30分かけて 調整後90分以内に投与終了					↓	↓					
幹細胞輸注													↓			
G-CSF																↓

1コース=11日間

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

〈ブスルフェクス〉

- ・ブスルフェクスを、10倍量の生理食塩液、又は5%ブドウ糖液で希釈する。
- ・調整後は8時間以内に投与終了。
- ・痙攣予防として、フェニトインを1回 100mg 1日3回 内服する。
- ・60才以上、または肝障害のある患者は2.8mg/kgに減量

〈アルケラン〉

- ・1vあたり専用溶解液 10mLを加え激しく振盪して完全に溶解する。
- ・調整後は90分以内に投与終了。
- ・調整後の溶液は、沈殿することがあるので冷蔵しないこと。
- ・投与前日から投与後24時間は十分な水分補給(3000mL以上)および利尿剤の投与とアルカリ化を行なう。
- ・60才以上、または不整脈、腎機能障害のある患者では70%doseに減量を考慮する